

日本なし・草生栽培（品種：幸水、豊水、新高、二十世紀）

東葛飾農業事務所

1 地区名

松戸市高塚地区

2 栽培戸数、面積、収穫量、出荷先

- (1) 栽培戸数 1戸
- (2) 栽培面積 147a
- (3) 収穫量又は出荷量 29t
- (4) 出荷先又は販売方法 自宅販売

3 ちばエコ基準達成状況

区分	実施状況	ちばエコ基準
化学合成農薬（成分回数）	16回（幸水、豊水） 17回（新高、二十世紀）	26回
化学肥料（窒素分量）	7.0kg/10a	13kg/10a

4 事例のあらまし

松戸市は、品種「二十世紀」誕生の地として知られ、なしは秋の味覚を代表する最も身近な農産物として消費者から親しまれています。

また、なしの生産者は住宅地に近いという立地条件を活かし、ほとんどが直売を行っていることも人気が続く要因となっています。

一方、住宅地に隣接するなし園も多く、周辺環境に配慮した農業生産が求められています。

本事例では、フェロモン剤の活用による化学合成農薬使用量の低減や、堆肥や有機質肥料の使用による土づくりや化学合成肥料の低減により、比較的難しいと言われているなしの「ちばエコ農業」を実践しました。

5 背景・動機

(1) 都市化の進展

松戸市のなし生産は、住宅地の近隣で行われていることから、減農薬・減化学肥料栽培を中心とした環境に配慮した生産が求められています。

このため、松戸市梨研究会では平成20年度までに全員(73名)がエコファーマー認定を受け、環境に配慮したなし生産の実践がスタートしました。

(2) 自身のエコ農業への関心

本事例の生産者は、これまで堆肥づくりや化学合成農薬の低減等、環境に配慮したなし作りを実践・継続してきたところです。今回、その公的認証を得ることで、消費者へのPRと有利販売につながると考え、「ちばエコ農業」にチャレンジしました。

6 栽培方法

都市近郊でなし栽培を行うには、周辺住民と環境に極力配慮した栽培方法が求められます。また、家族労働を中心とした経営で高品質ななし作りを行うためには、夏期の新梢管理に労力を集中する必要があります。そのため、できる限り農薬と肥料散布の手間を少なくする工夫を重ねてきました。

病虫害防除では、病虫害の発生を実害が出ない程度にコントロールするための工夫をしました。日本なしの主要病害である黒星病に対しては、落葉処理や越冬病斑の除去など耕種的防除を徹底して行い、その上で、月2回の防除を基本としながら、天気予報と近郊の気象データを勘案し、効果的な散布時期を判断しています。また、品種毎に病虫害の種類や発生時期を予測し、農薬と性フェロモン剤を組み合わせて発生密度を制御しました。

土づくりでは、毎年土壌分析を行い、無駄な施肥を減らしてきました。有機質肥料を中心とした施肥を行い、食味の向上も図っています。また、草生栽培を取り入れ、有機物補給効果などによる土壌環境の改善にも取り組んでいます。



お客様の信頼を獲得

性フェロモン剤の活用



ア 栽培管理

作業名	実施年月日
前作収穫終了	平成 22 年 10 月 5 日
授粉	平成 23 年 4 月 18 日
摘果	5 月 4 日
収穫開始	8 月 7 日
収穫終了	10 月 5 日

イ 使用資材

(ア) 土づくり・施肥等

(10a あたり)

使用銘柄 (N : P : K)	実施年月日	施用量	全N	化学N
カキガラ石灰	平成 22 年 10 月 20 日	40kg		
豚ふん堆肥	10 月 31 日	2.0t		
イタリアンライグラス (播種量 : 3kg/10a)	平成 23 年 3 月 31 日			
追肥化成NN330 (13 : 3 : 10)	平成 22 年 8 月 26 日*1 10 月 5 日*2	60kg	7.8kg	7.0kg
魚粕	10 月 25 日	100kg	8.0kg	
複合 6 - 8 - 4 (6 : 8 : 4)	10 月 27 日	100kg	6.0kg	
菜種粕	11 月 14 日	100kg	5.3kg	
有機アグレット 673 特号 (6 : 7 : 3)	平成 23 年 3 月 30 日	100kg	6.0kg	
合計			33.1kg	7.0kg

*1 : 幸水のみ

*2 : 幸水以外の品種

(イ) 病害虫・雑草防除等

使用農薬	対象病害虫	実施年月日
デランフロアブル	黒星病	平成 22 年 11 月 13 日
ハーベストオイル *3	ハダニ類、コナカイガラムシ類	平成 23 年 3 月 19 日
マネージDF	黒星病、赤星病	4 月 13 日
チオノックフロアブル	黒星病、赤星病、黒斑病、 心腐れ症	4 月 13 日

使用農薬	対象病害虫	実施年月日
スコア顆粒水和剤	黒星病、赤星病、黒斑病	4月29日
バリアード顆粒水和剤	シンクイムシ類、アブラムシ類、カメムシ類、クロナカイガラムシ	4月29日
コンフューザーN *3	チャノコクモンハマキ、チャハマキ リンゴコクモンハマキ、リンゴモンハマキ モモンクイガ、ナシメシクイ	5月15日 7月15日
オリオン水和剤 40	シンクイムシ類、アブラムシ類、クロナカイガラムシ	5月17日
チオノックフロアブル *4	黒星病、赤星病、黒斑病	5月17日
ベルクガード水和剤 *5	黒星病、輪紋病、黒斑病	5月17日
キノンドーフロアブル	黒星病、輪紋病、黒斑病	5月27日
モスピラン水溶剤	シンクイムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類	5月27日
ベルコートフロアブル	黒星病、輪紋病	6月9日
スプラサイド水和剤	シンクイムシ類、カメムシ類、クロナカイガラムシ	6月9日
ストロビードライフロアブル	黒星病、輪紋病、炭そ病	6月23日
ダーズバンDF	シンクイムシ類、クロナカイガラムシ	6月23日
オーソサイド水和剤 80	黒星病、輪紋病、疫病	6月23日
アンビルフロアブル	黒星病、輪紋病、赤星病	7月7日
ダントツ水溶剤	シンクイムシ類、アブラムシ類、コナカイガラムシ類、カメムシ類	7月7日
ロディー水和剤 *6	シンクイムシ類 ハマキムシ類、ハダニ類	8月29日

*3 : 化学合成農薬に含めない農薬

*4 : 二十世紀以外の品種

*5 : 二十世紀のみ

*6 : 新高のみ

7 今後の展望

当事例では、比較的難しいと言われているなしの「ちばエコ農産物」栽培基準を達成したものです。

この成果を周囲の生産者に直ちに波及させることは難しいものの、なしの栽培においても化学合成農薬と化学肥料を極力減らした栽培が実践できることが現場で実証されたことから、今後はフェロモン剤や堆肥の活用等、可能なことからの取り組みを地域へ推進し、認証の拡大を目指していきます。